

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 宇都宮瑞生  
所属 (School) 工学研究科 物質・化学系専攻  
学年 (Grade) 修士 2年

留学先 (Name of overseas institution)  
モナシュ大学 (メルボルン)  
留学期間 (study abroad period)  
2019/8/9~2019/9/2

記入日 (Date) 2019/9/13

## 留学レポート Study Abroad Report

私も留学参加前に過去のレポートを見て、それを参考に留学先を選びました。GPPに興味を持っていて内容をもっと知りたいという方に向けて、その特徴や実際に参加して感じたことについて書きたいと思います。留学先の中でもGPPを検討している方の参考になればと思います。

### ■ GPP について

私の参加したプログラムは Global Professionals Program であり、その名の通り、将来グローバルに働くための知識を学んだり、スキルを習得したりするものです。そのため英語そのものについての勉強はしません。ここで学ぶことは、就職活動やその先の社会人として働く際に役立つと思います。したがって、学部の1年生から私のような大学院生まで誰もが参加する価値のあるプログラムだと考えています。もし興味を持っているならば少しでも早いうちに参加した方が得られるメリットは大きいと思います。また、本プログラムは一定の英語力が参加条件としてありますが、実際に参加してみても参加者のレベルはかなり高いと感じました。そして同じ参加者から得られるものも多かったです。参加している学生は優秀な人が多く、彼らと話したり様々な経験を聞くことで知見を広めることが出来ました。

### ■ GPP に参加した理由

今回私が参加するにあたって大きく2つの理由がありました。

(1) 学生のうちに留学を経験してみたい

私は学部生のときから留学には少しだけ興味を持っていましたが、何か行動に移したことはありませんでした。しかし就職活動が終わり、もう少しで社会人という状況になったときに、学生時代にしかできない留学をしてみたいという思いが強くなりました。

(2) 社会人として働くために役立つことを学びたい

私は就職先として英語力が求められる職を選んでいて、最初は単純に語学留学で英語を身につけることを考えていました。その中でGPPを知って、キャリア・ビジネスにフォーカスしたプログラムに魅力を感じました。ハイレベルな環境の中で、今後社会人として仕事で役立つことを学びたいと思いました。

### ■ モナシュ大学での授業

授業は基本的にシティにある2つのキャンパスで行われました。授業内容は前年度参加した方のレポートにも書いてありますが、改めて記したいと思います。

【1週目】

中国、マカオから来た学生も含めて4クラスに分けられました。彼らは私たちよりも早くプログラムに参加していました。この週では、自分をブランド化するパーソナルブランディングや、企業によってそれぞれ別のカルチャーを持つといったことを学びました。クラスごとに大手会計事務所や保険会社等の現地の企業を訪問しました。そして、それに関するプレゼンをチームで行いました。

【2週目】

この週から2クラスになり、大半が日本人でした。授業では実際に働く中で必要なスキルについて学びました。特にSmalltalkは日本にはない文化なので面白かったです。午後は授業がない日があったり、総合商社

を訪問したり、クレイトンキャンパスで日本語を学んでいる学生と交流したりしました。また在メルボルン日本国総領事のお話を聞く機会もあり、国際機関での仕事を知るだけでなく、相手を引き付ける話の仕方を学ぶことが出来ました。

【3週目】

最終週は日本人のみの1クラスとなり、日本の製品を売り込むというプロジェクトでした。4人チームで1つの製品について調査を行い、最終日にプレゼンを行いました。限られた時間ではありましたが、市場調査やターゲットの想定など実際のビジネスに近いことを経験できました。その中で Storytelling というものを学びました。簡単に言うとプレゼンの中で物語を引用して使うということですが、個人的にこの Storytelling が学んだことの中で印象に残っています。



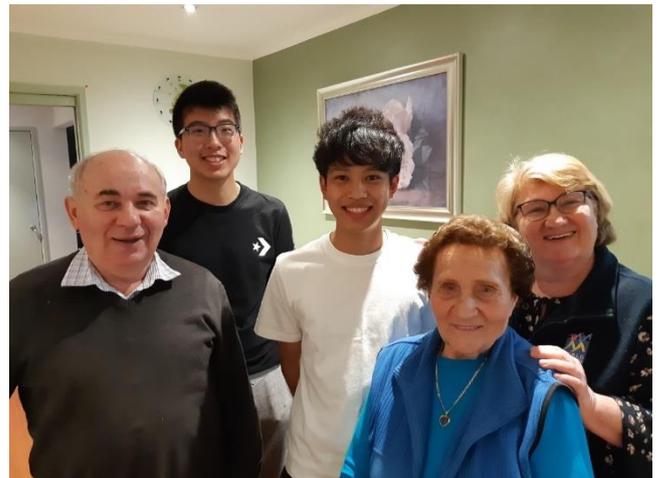
授業中の写真



最終日のプレゼンテーション

## ■ホームステイについて

私のホストファミリーは、父、母、息子の3人でした。彼らはハンガリーやドイツなどのヨーロッパの出身でした。それに加えて長期間ホームステイしているインドネシア人の学生も一緒に暮らしていました。私の場合はホストマザーがご飯の用意などを全てしてくれました。昼食は基本的にサンドイッチとフルーツでした。夕食には大体お米があったので私としては嬉しかったです。ホストマザーが料理上手ということもあって毎回ご飯が美味しく、食に関して全く不満はなかったです。休日にはホストファミリーが車で色々な場所に連れていってくれました。フィリップ島やペニンシュラ温泉、キリスト教の教会などに行きました。みんないつも笑っているファミリーでとても居心地が良く、楽しかったです。本当にお世話になりました。



ホストファミリーと

## ■メルボルンでの生活

授業が終わった16時以降の時間を色々なことに使えるので、事前にある程度やりたいことを考えておくと良いと思います。キャンパスがシティの中心部なので色々な所に行きやすいです。もちろん早く帰ってホストファミリーとご飯を食べてもいいですし、バーに行ったり観光地に行くのも良いと思います。

私の場合は、平日は朝7時に起きて7時半に家を出発、バスと電車を使って通学し、8:45頃に大学へ着くという生活でした。授業後はユーレカスカイデッキやナイトマーケット、フッティー観戦等に行ったりしましたが、特によく行ったのはバーです。メルボルンでは多くのバーが16~19時までハッピーアワーをやっており、お酒を安く飲むことができます。自分たちでお店を調べて色々なバーに行きました。日本では味わえない雰囲気なのでとても楽しかったです。

休日には、上記で書いたようにホストファミリーに連



バーでの写真



## ■最後に

これまで書いてきたように GPP は英語自体を学ぶプログラムではありません。一方で将来グローバルに働くための様々な知識や経験を得ることができます。そのため、「グローバルに働く」ということに少しでも興味を持っている人には是非参加して欲しいと思います。就職活動について全く知らなかったり将来のビジョンがなくても大丈夫です。GPP に参加し、会社訪問や一緒に参加する人と色々な話をすることが将来のキャリアを考えるきっかけになると思います。先に記したように参加時期は早ければ早いほど良いと思います。その方が先のキャリアを意識するきっかけになると思いますし、私も実際に参加してみて学部生のときに参加したかったと思いました。特に就職活動を始める前に参加すると多くの学びがあると思います。一方で就職活動を終えた身でも勉強になる部分は多くありました。実際に就活中に知ったことと同じようなことを多く学んだため、改めてインプットできた上にグローバルに働く際にも日本と同じような能力が求められると感じました。また色々な人と出会い、話を聞くことで自分自身の視野を広げることができました。最後に、私のように英語にあまり触れていない状況で参加すると苦労すると思うので、不安な方は留学に行くまでに英会話の経験を少しでも多く積むことをお勧めします。笑



Company visit



在メルボルン日本国総領事と